

2020—2021年度
国際ロータリーテーマ

国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク
第2730地区ガバナー 風呂井 敬

鹿児島市内ガバナー補佐 Aグループ 上川 咲男・Bグループ 野井倉洋豪



第2730地区 鹿児島サザンウインド ロータリークラブ

事務局・例会場 鹿児島東急REIビル
〒890-0053 鹿児島市中央町5-1-9 F
TEL 090-5295-2736
FAX 099-251-5290
例会日 1ヶ月3回 木曜日 12:30~13:30

2020-2021年度
会 長 岩下いずみ
会 長 エレクト 吉時真也
幹 事 小川ちえみ
編 集 会報・広報委員会
Eメール kswrc@po5.synapse.ne.jp
HP https://ksw-rc.org

第1097回例会 2021年(令和3年) 6月3日(木) 本日のプログラム「クラブフォーラム(次年度に向けて)」VOL.25-31

前回第1095回例会(5/20(木))の報告 於: 東急REI

【会長アドレス】 会長 岩下いずみ

皆様こんにちは
去る5月15日土曜日は風呂井ガバナー年度の地区大会が鹿屋で開催されました。当クラブからは川原バスターガバナー、前年度ガバナー補佐を務められた右田会員、地区の国際奉仕委員会委員の中村会員の3名が出席されました。

私はオンライン上での参加をさせていただきましたが大変素晴らしい地区大会に感動いたしました。

サザンはいくつかの部門で表彰を受け、川原会員はフォトコンテストで入賞されていました。しばらくの間、地区ホームページ上で地区大会の動画が見れるそうです。講演いただいた2770地区バスターガバナー中村康治様の講演の資料はメールでお送りしておりますのでどうぞお時間のある時にお目通しください。

次年度は都城で盛大にリアル地区大会に参加できることを願っています。

例会場移転につきまして、東急REIホテルさんが9月末で閉館となりますので、10月からの新たな例会場を検討しています。城西RC、令和RC、サザンの3クラブの今年度と次年度の会長、幹事11名で話し合いの場を持ちました。その中で決まったことは3クラブがこれまで通り同じ例会場を使用することで親しい関係を継続したいということと、事務局は単独で借ると経費の負担額が大きくなるので城西、サザンの2クラブで例会場近くにマンション一部屋を借りるという、この2点です。

吉時年度の予算の年間計画にも大きく影響しますので

問題がなければ10月からの例会場についてのご意見等ございましたら、小川幹事にご連絡ください。

【幹事報告】 幹事 小川ちえみ

①4/24(土)の地区研修協議会と、5/15(土)の「地区大会」にYouTubeでのオンライン視聴をされたかたは、メイクアップになりますので事務局までご連絡をお願い致します。

②6月に開催予定の「地区インターアクト研修会及び連絡協議会」につきまして、現在のコロナ禍の状況を鑑み、中止することになりましたのでお知らせいたします。

③2730地区 指導者育成セミナーが、6/6(日)13:30~14:45 YouTubeでライブ配信されます。

地区のホームページからアクセスして、ご視聴頂けます。ご視聴参加者に制限はございませんが視聴予約リストをガバナー事務所に提出しますので、ご視聴された方は5/28までに事務局までご連絡下さい。

④5/25(火)13:00~16:30 日本のロータリー100周年を祝う会の記念式典がYouTube配信されます。詳細は昨日、メールにてお知らせしております。

【ゲスト】

鹿児島市内Aグループ
ガバナー補佐、上川咲男様



【ニコニコBOX】

◆岩下いずみ君・小川ちえみ君
上川ガバナー補佐様、1年間のご指導、誠にありがとうございました。そして、お疲れ様でした。今後共、宜しくお願い申し上げます。

《ニコニコBOX累計額 ¥144,000》

【ロータリー財団寄付目標達成者】

濱田一郎君・井岡松司君・高良次男君・松田圭次郎君
西嶋佐智江君・中村英生君

【米山記念奨学会寄付目標達成者】

高良次男君・井川良仁君・松田圭次郎君・野元博志君

【5月の誕生日祝い】おめでとうございます！

吉時真也君 (14日)
赤尾かおり君 (16日)
田中広征君 (30日)



【プログラム】

「上川ガバナー補佐訪問」
鹿児島市内Aグループ
ガバナー補佐、上川咲男様

今日は風呂井敬ガバナー年度最後の補佐訪問させていただきました。鹿児島市内Aグループガバナー補佐 上川咲男です。所属は鹿児島南ロータリークラブです。先日の地区大会で貴クラブは3つの賞を受賞されました。

①ロータリー賞 シルバー賞

②「Every Rotarian, Every Year」クラブ

(会員1人あたりの年次基金への平均寄付額が100ドル以上であり、全員が年次基金に25ドル以上寄付の条件を満たしたクラブに国際ロータリーより連絡)

③100%ロータリー財団寄付クラブ表彰誠にありがとうございます。素晴らしい地区大会でした大会の様子youtubeで視聴できます。ご覧ください。

年度初めからコロナウイルス感染蔓延で様々な活動を中止また延期せざるを得なかった事と思います。

地区スローガン「不易流行・ロータリーの基本を堅持し変化に適應するクラブ」の実施には多くのハードルがあり困難な場面が多かったと思いますが、岩下会長のクラブスローガン「Enjoy the change! 変化を楽しもう!」のもと理事、会員の皆様の協力とバックアップで色々チャレンジされたことは素晴らしいことと思います。そういう中で7月、8月には続けて大切な会員を亡くされその悲しみショックは大変だったと思います。

ところで、参考にさせていただきたいことが2つほどあります。

1つ目は地区の正式な呼び方です。

国際ロータリー 第2730(にんなさんまる)地区ではなく、正解は 国際ロータリー第2730(にせんなんひやくさんじゅう)地区です。

2つ目はコロナ禍で「対面例会を行うことができず、オンライン例会になると思います。オンラインでの参加が苦手な会員が結構いらっしゃると思います。そのことが退会に繋がらないよう今まで以上の欠席会員とのコンタクトなど配慮が大切だと思います。

毎回回報をいただき今後の貴クラブのさらなる発展を確信しております。

1年間大変お世話になり感謝しております。ありがとうございました。



『5月15日 地区大会報告 中村聡会員』

リアル参加者は約100名(会場は500名入る会場)でしたので前後2M以上あり、ゆったりとした会場での地区大会でした。

鹿屋西RCは、3年前に周年事業をされそこからの流れを含んだ、テーマ不易流行が繋がった地区大会でとても素晴らしい大会でした。

地区ガバナー賞を当クラブが受賞いたしました。地区で3クラブです。

濱田年度の活動に関しての受賞です。このガバナー賞はあらゆる観点から採点され表彰になります。皆様のクラブに対してのご支援が実を結んだと思います。皆さんと共に喜びたいと思います。



次回(第1098回)例会のお知らせ

日 時: 2021年6月17日(木) 12:30~13:30
場 所: 鹿児島東急REI
プログラム: クラブ協議会(年間活動報告)

出席報告

例会日	会員数	出席数	出席率%
第1095回5月20日(木)	48(46)	36	78.26

市内他RC例会プログラム

★は、記帳受付有り (ホームクラブ例会場)

鹿児島RC 6/4(金) 次年度クラブフォーラム①

6/11(金)【定例夜間例会】次年度クラブフォーラム②
(山形屋)

鹿大7姉♀RC 6/4(金) 野井倉ガバナー補佐訪問(稲森会館)

中央RC 6/7(月) 会員卓話 新入会員自己紹介
6/14(月) 次年度委員会別打合せ (山形屋)

令和RC 6/14(月) 年間活動報告、次年度組織図&予算発表
(東急REI)

東南RC 6/8(火) クラブ協議会
6/15(火) 会長・幹事 1年を振り返って (朝日社)

城西RC 6/8(火) クラブ協議会
★6/15(火) 休会 (東急REI)

南RC 6/9(水) クラブフォーラム(次年度について)
6/16(水) 会員卓話 (朝日社)

西RC 6/9(水) クラブフォーラム(親睦)
6/16(水) クラブ協議会(年間活動報告) (山形屋)

西南RC 6/9(水) 野井倉ガバナー補佐訪問
6/16(水) 定款に基づき休会 (ゆうづき)

東RC 6/10(木) クラブフォーラム各委員長活動報告①
6/17(木) クラブフォーラム各委員長活動報告②
(朝日社)

北RC 6/10(木) クラブ協議会(年間活動報告)
野井倉ガバナー補佐訪問

6/17(木) 休会 (7月始め鹿児島)

2020-2021年度 国際ロータリーのテーマ 「ロータリーは機会の扉を開く」

第2730地区目標 「不易流行・ロータリーの基本を堅持し、変化に適應するクラブを」
クラブスローガン 「Enjoy the change! 変化を楽しもう！」

前回第1096回例会（5/27（木））の報告 於：ZOOM例会

【会長アドレス】 会長 岩下いずみ

皆様こんにちは

本日は今年度最後のZOOM例会となります。

台北土城ロータリークラブの洪さんご出席くださいまして誠にありがとうございます。ロータリーの友情が伝わります。謝謝

さてロータリーの5月は青少年奉仕月間です。若い人々の育成を支援するためロータリーには多くのプログラムがありますがその中でも青少年交換はロータリーの中でも最も長い歴史を持っています。若者が海外で多くの事を学び大きな世界に視野を広げる機会の扉を提供しています。



そして本日ご出席の洪さんは青少年交換留学プログラムにおいて2730地区と台湾との間でたくさんの学生さんとそのご家族に対してご尽力いただいています。コロナが終息し自由に世界を行き来できるようになりましたら、純心学園インターアクトの学生さんにもこのプログラムへの参加を提案できる日も近いのではないかと思っています。

先週、報告しましたがクラブの長期ビジョンは地域のニーズに対応した新たな奉仕活動にスピーディーに取り組める柔軟性を持つクラブです。ですので、今後は多くの面である程度のスピードを持って奉仕活動に取り組めるのではないかと考えております。

それから現在の例会のあり方については例会の時間短縮やオンライン、お弁当の持ち帰りなどこれまでになく変化する規制の中で多人数での会議について神経を使っているクラブ運営を余儀なくされています。

本来であれば活発な委員会活動はもちろん、新入会員の歓迎会、還暦、古希、などさまざまなお祝い事をクラブ全体で行い親睦を図るのがロータリアンとして望ましいです。親睦は飲み会の意味ではありませんが飲み会は例会の時間にはできない本音で語れる大事な機会です。しかし今このような状況ですので、クラブ側から開催する事ができていません。

クラブではお祝い事を省略してなおざりにしているのではないので、このような状況に残念で大変申し訳なく思っていることを皆様にお伝えしたいです。

それで提案ですが、お祝い事は思い立った方が発起人となり、小さな集まりで個別に開催してロータリーの友情を深めたいいただきたいというのが今の私の切なるお願いです。私は会長として声かけはできませんが、お声がかれば可能な限り出席させていただきますと思います。今回、クラブ会員のお祝い事についての開催についてのご要望がありましたので、同じようなお考えの方もおられるかと思いきや説明と提案させていただきました。

【幹事報告】 副幹事 佐藤俊一

①6/17の例会プログラムは年間活動報告となっております。

各委員長さんはフォーマットを火曜日にお送りしていますので6/11までに事務局までご提出ください。

②6/1（火）、18：00～18：30 「2021-2022年度 第1回鹿児島市内RC会長幹事会」、18：30～19：30 「2020-2021年度 鹿児島市内RC新田会長幹事会」が城山ホテル鹿児島（5Fルビー）で行われます。

鹿児島県下における新型コロナウイルスの感染拡大状況により、懇談会を中止し、会議時間を短縮して開催することになりました。

③来週例会後、今年度定例理事会、その後次年度定例理事会を行います。役員の方はよろしくお祈りします。

【ZOOMゲスト】 台北土城RC 洪 俊傑（こう しゅんけつ）様（写真右）



【ニコニコBOX】

◆岩下いずみ君・小川ちえみ君

本日の会員卓話の尾上彬斗さん、よろしくお祈りいたします。土城RCの洪 俊傑さん本日も当クラブの例会によくご参加くださいました。

◆佐藤俊一君

5月27日、鹿児島サザンウインドRCのゴルフコンペが開催され、優勝しましたのでニコニコします。

会長賞も頂き、ありがとうございます。

《ニコニコBOX累計額 ￥148,000-》

【ゴメンナサイBOX】

◆小川ちえみ君

諸事情で本日、欠席致します。

佐藤副幹事、よろしくお祈りいたします。

《ゴメンナサイBOX累計額 ￥3,000-》

出席報告

例会日	会員数	出席数	出席率%
第1096回5月27日(木)	48(46)	28	60.87

【本日のプログラム】 新入会員卓話 尾上彬斗会員

みなさんこんにちは。

稲村建設株式会社 常務取締役の尾上彬斗と申します。ご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、昨年の7月に叔父である松下の紹介で入会をさせて頂きました。松下の逝去の際、温かいお心遣いや励ましを下さった方々には、この場をお借りして改めてお礼申し上げます。

早速ですが、私の会社である稲村建設株式会社の紹介をさせて頂きます。

昭和29年に稲村建設株式会社の起源である稲村組が創業されました。そして、同時期に私の祖父が尾上組を創業しました。その二者が合併し、昭和46年に稲村建設株式会社が設立しました。祖父が代表として経営をしておりましたが、昭和62年に逝去し、その後は私の父が跡を継いで現在に至っております。

事務所は鹿児島市小田山町に構え、21歳から73歳までの20名の従業員が活躍してくれています。「街の未来創り」を使命と考え、地域住民が安心して日常が送れるよう汗を流し、従業員や同業者、その他多くの方々のお力添えを頂きながら創業67年目を迎えることができました。

事業内容と致しましては、総合工事業ということで主に土木工事、とび・土工工事、管工事、解体工事、舗装工事、その他工事を手掛けております。具体的に申し上げますと、建物を建てる為に土地を整備する造成工事、道路の改良や維持修繕をする為の道路工事、増水や氾濫等の河川災害を防ぐ為の河川工事、古くなった橋を補修し、安全を保つための橋梁補修工事、建物以外の敷地を整備する為の外構工事など、内容は多岐に渡ります。

県や市からの公共工事を始め、同業社や個人からの民間工事も請け負い、元請・下請共に従事しています。

次に私個人の紹介をさせて頂きます。

高校卒業後、当時、始良にありました測量専門学校・建設科に入学し、建設業の基礎を学びました。卒業後は県内の建設会社に就職し、社会人としての経験を積みました。その会社は出張が多く、年間の半分以上は県外もしくは離島での勤務でした。見知らぬ土地での仕事は心身共に辛く感じることもありましたが、多くの出会いもあり、自分自身の成長の糧となりました。

稲村建設の跡を継ぐ決意をし、父に相談をしたところ、始めは猛反対されました。

「会社をやっていくことは大変やっど」という父の言葉の重みが当時は全くわかりませんでした。

実際に入社してみると、当初は社長の息子ということにより、色眼鏡で見られることも多々ありました。悔しい思いも沢山経験しました。それでもやはり、入社した以上は自分の色を出し、認めてもらいたいという一心でがむしゃらに働きました。

今の会社に入社し、7年目となりますが、経営のこと、従業員のこと、同業社との付き合いのこと…勤め人だった頃には全く見えなかった部分にまで考えを馳せなければならず、父の言葉の意味がようやく身に沁み入ります。

又、入社当時に私が最も危惧したことは従業員の高齢率でした。1人を除き、全員が50代後半以上だったので、会社の存続が厳しいことは目に見えていました。そこで、まず若い力を入れるための求人募集に注力しました。わざわざハローワークに出向かなくとも携帯一つで仕事を探し、応募ができる世の中です。若者の目に留まりやすいよう、募集要項も工夫を凝らしました。建設業は特に若年者の確保が難しいと言われる業種ですが、結果として、現在20名の従業員の内、4名の20代の従業員を確保することができました。若い従業員が続々と入社してきたことにより、会社が活気づいたことは言うまでもありません。スキル継承をしていく立場のベテラン勢の意識も必然的に変わってきたように思います。

この経験を通して、結局、会社は従業員さんという「人財」に支えられてできているということを改めて痛感致しました。従業員さんが会社を創り、育てていく。社長を始めとする我々経営陣は、その従業員さんたちが最も能力を発揮でき、定着する働きやすい職場環境創りが大事であるということに気付かされました。

生前、叔父は会う度に誇らしげにロータリーの話をしていました。

入会を誘われたものの、最初は、どのような活動をしているのか？どのような方々がしょぞくしているのか？恥ずかしながら全くの無知でした。

自分なりにロータリークラブのことで、当クラブのことを調べてみて「信義に厚く、高潔な方々が世界に目を向けて活動をしている。」ということを知り、このような場に身を置くことができるということで、身の引き締まる思いです。8月には叔父の一年忌を迎えます。きっと叔父はロータリアンとしても志半ばだったことと思います。その叔父の想いもしっかりと受け継ぎ、ロータリアンとして地域や社会全体に奉仕をしていく所存です。

ロータリアンとしてはもちろんのこと、社会人としても経営者としてもまだまだ未熟な身でありますので、ご指導ご鞭撻頂けますと幸いです。今後とも末永く宜しくお願い申し上げます。

